

事務事業名	診療事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市立病院事務局	医事課	医事担当	大木 博之

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち		
	個別目標	いつでも必要な医療が受けられる		
	めざす成果	市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている		
根拠法令	名 称	医療法		
		地方公営企業法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
治療を必要とする患者		28年度（決算額）	29年度（決算額）	30年度（予算額）
	事業費	8,840,292	9,038,854	9,890,662
	人件費	58,032	56,741	42,050
目 的	総事業費	8,898,324	9,095,595	9,932,712
疾病の治療を行います。	30年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】 市立病院の人材・機器等の医療資源を用いて良質かつ適切な治療を行います。		県支出金		0
		市債		0
		その他		9,890,662
		一般財源		0
		合 計		9,890,662

3. 活動内容

活動指標1	名称	入院収益			単位	千円
	内容説明	入院患者数×診療単価				
	指標値		28年度	29年度（当該年度）	30年度	
		予 定	6,390,748	6,616,921	6,965,282	
		実 績	5,878,471	5,848,315	―――	
活動指標2	名称	外来収益			単位	千円
	内容説明	外来患者数×診療単価				
	指標値		28年度	29年度（当該年度）	30年度	
		予 定	3,259,610	3,725,330	3,747,339	
		実 績	3,316,158	3,280,583	―――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		28年度	29年度（当該年度）	30年度	
		予 定				
		実 績			―――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		28年度	29年度（当該年度）	30年度	
		予 定				
		実 績			―――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	27年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	28年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	29年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	病院システムや医療機器の入れ替えを行い、電子レセプトへの対応や治療内容の充実を図り、地域の基幹病院としての役割を果たしていきます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	27年度	28年度	29年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	地域の二次医療機関として急性期医療を担う必要があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	27年度	28年度	29年度	B：成果を上げる余地が一部ある。
	B	B	B	医師や看護師を含む医療従事者等必要な人員を確保し配置していくことで、適正な業務遂行を実践し、更なる成果の向上が図られます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	27年度	28年度	29年度	B：経費を節減できる余地が一部ある。
	B	B	B	人材、機器等の医療資源の更なる効率化を目指します。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	27年度	28年度	29年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	国が定める診療報酬点数に基づき、患者が受けた治療に対し患者負担分の医療費請求を行っていることから適正であると言えます。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	27年度	28年度	29年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	ホームページや病院報を活用した情報提供、外国人向けに案内掲示板や診療等に必要書類の整備を行いました。

事務事業名	保健衛生事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市立病院事務局	医事課	医事担当	大木 博之

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち		
	個別目標	いつでも必要な医療が受けられる		
	めざす成果	市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている		
根拠法令	名 称	医療法		
		地方公営企業法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
大和市及び近隣住民		28年度（決算額）	29年度（決算額）	30年度（予算額）
	事業費	172,057	182,817	196,094
	人件費	6,696	5,895	5,158
目 的	総事業費	178,753	188,712	201,252
疾病の早期発見、予防及び健康増進を図ります。	30年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】 疾病予防、保健指導等の広報活動を行います。 市民等を対象とする講演会等を開催します。		県支出金		0
		市債		0
		その他		196,094
		一般財源		0
		合 計		196,094
3. 活動内容				
活動指標1	名称	脳ドック受診者数		単位 人
	内容説明	脳ドックの受診者数		
	指標値		28年度	29年度（当該年度）
		予 定	1,000	80
		実 績	944	60
活動指標2	名称	各種健康診査業務		単位 人
	内容説明	乳がん・子宮がん・小児等各種健診の受診者数		
	指標値		28年度	29年度（当該年度）
		予 定	9,000	9,000
		実 績	8,543	8,361
活動指標3	名称	各種予防接種業務		単位 人
	内容説明	各種予防接種の接種者数		
	指標値		28年度	29年度（当該年度）
		予 定	800	700
		実 績	656	1,001
活動指標4	名称			単位
	内容説明			
	指標値		28年度	29年度（当該年度）
		予 定		
		実 績		

4. 今後の方針等

今後の方針等	27年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	28年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	29年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	二次医療機関として良質かつ適正な医療を提供していくため、予防医療分野である保健衛生事業については、引き続き、その実施の妥当性などを検討していきます。 【「健康都市 やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】					